

提案書作成・記入要領

作成に当たっては様式及び以下の指示に従い10.5ポイント以上の文字等を使用して記入してください。英語で記載した提案書も受け付けます。

1. 氏名

応募者の氏名を日本語又は英語により正しく記入してください。フリガナも省略せずに記入してください。

2. 住所及び連絡先

現住所、連絡の取れる電話番号及びメールアドレスを記入してください。

3. 顔写真

撮影後3ヶ月以内の顔写真の電子データを貼り付けてください。
無帽、正面、無背景

4. 生年月日、年齢及び性別

生年月日は、西暦で記入してください。
年齢は、2011年4月1日現在の年齢を記入してください。
性別は、性別を記入してください。

5. 学位（取得年月日）

学位については、称号及び取得した年月日を西暦で記入してください。
なお、博士の学位を有していない者については、他の称号及び取得した年月日を西暦で記入してください。

6. 国籍

国籍を記入してください。

7. 現在の所属先及び職名

現在の所属先及び職名について正確に記入してください。
日本学術振興会特別研究員などについては、所属先に受入先名を記載してください。
例： 大学大学院 研究科・日本学術振興会特別研究員（PD）

8. 希望する職種

希望する職種について、准教授または助教のいずれか一つにチェックをしてください。
なお、いずれか一つにチェックをしなかった場合には、審査に付されません。

9. 研究場所について

研究を予定している場所について記入してください。記入に当たっては、可能な限り受入先研究者名まで記載して下さい。
採用後の研究場所については自ら準備することが望ましいことから、事前に採用後の

研究場所について受入先の了解を得ている場合は、当該受入先（部局名、専攻名、研究者名等をできる限り詳細に記載）を記入し、了解済みにチェックをしてください。なお、受入先の了解を得られていない者は、希望する研究場所を記入し、希望にチェックをしてください。

10 . 関連研究分野

あなたの研究に最も近い研究分野を、別添の科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」の「細目」の中から一つ選択の上、「分科」とともに記入してください。

記入例) 細目名「哲学・倫理学」を選択した場合

分科名：哲学 細目名：哲学・倫理学

11 . 学歴及び職歴

2011年4月1日の状況で記載してください。

学歴は、高校卒業以降のものを順追って記載してください。なお、中途退学であっても省略せずに記載してください。また、海外留学なども記載してください。

職歴には、職歴の全てを記載してください。なお、職名、地位等を具体的に記載し、各職歴について終期を明記してください。

12 . 取り組む研究のタイトル

本提案に係る研究のタイトルを日本語の場合は30字以内で、英語の場合は20ワード以内で簡潔に記入してください。

13 . 研究の概要

提案書に記載している指示に従って、本提案に係る概要を日本語の場合は100字程度で、英語の場合は50ワード程度で記入してください。

14 . 研究計画等

提案書に記載している指示に従って、記入してください。

研究目的としては、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的目的について、その要旨を冒頭に挙げ、研究の学術的背景、採用期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義など、焦点を絞り具体的かつ明確に記入してください。

研究計画・方法は、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について採用期間内の計画を記入してください。また、本研究を遂行する上での具体的な工夫なども記入してください。

場所については、採用後の研究場所について受入先との連絡調整の状況や本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等採用後の研究環境の状況を記入してください。

また、自ら研究場所を確保できていない者は、どのような環境で本研究を実施するかを記入した上で受入先の希望等を記入してください。

研究成果については、本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等を記入してください。

業績については、これまでの研究業績について自由に記載してください。

その他アピールしたいことについてもこの欄に記入してください。

記入に当たっては、5 ページ以上 10 ページ以内で自由に記述し必要に応じて図表を入れることもかまいません。カラーで作成しても構いませんが、審査資料とする場合はモノクロ印刷で用意いたします。

15 . 研究業績

提案書に記載している指示に従って、これまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演等のうち、主要なものを選定し記載してください。